

春の信仰

種まきをする農夫は秋の収穫を考えます。豊作を考えて種を蒔く農夫は期待を持っていますが、期待することがない農夫がいるとすれば、種まきそのものが適当になってしまいます。種まきの段階で何を考えているかによってその結果が変わってしまうのです。

チリで起きた炭鉱の事故がありました。多くの方は生存は難しいと思いました。しかし17日後に生存が確認できましたが、一番大事なことは閉じ込められた33人が必ず助けが来ると信じていたことです。信じるということは命に通じるのです。2011年の震災の時もそうでした。ある壮年は地震の時に海上にいました。大きな津波が来た時に直感的にその津波に向かっていこうと決心しました。その船には統一旗が掲げてあります。真の父母様を信じ、必ず助かると津波に向かっていったのです。このような話をする中で、思い出すことがあるのです。世界平和と女性連合の大会が4月10日にありましたが、大会の後、乗っていたバスが絶壁の崖から落ちそうになる事故が起きました。その一瞬、これは事故だと思いました。またそれと同時に大丈夫という思いが湧きおこりました。大会後でしたので、御父母様がプリントされた大会のパンフレットを手を持っていたからです。このように信じるということは大きな事なのです。

総会長は次の内容に力を入られています。①実質的な成長をなすこと。②2世、青年の成長。③もっと元気な青年教会に変えていく事。④幸せな教会になって行く事。⑤国家と世界に愛される教会に…

私たちは何を信じてここに来ているのでしょうか？真の父母様が救世主であることを信じてここにいるわけです。自分を救って下さる救世主です。祝福を通して原罪が清算され天の父母様の息子娘になったことを信じている私たちです。天の父母様が救援の中心に立てて下さったという事を信じている私たちです。信じるか不信するかによって何年後か先の自分の人生が変わるはずです。希望に変えようとしている統一教会を共に信じて共に同参していきたいと思います。信じる事、そこには信用が生まれてくるのです。天の父母様が私を信じてここに呼んでくださいました。私たちも信じる事によって救われ、信じる事によって勝利する皆様になる事願うのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお願い致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 真のお父様聖和三周年に向けての150日伝道路程
来る8月30日は「真のお父様聖和三周年」を迎えます。聖和三周年までの150日期間(2015年4月1日～8月28日)、真の御父母様の生涯路程の勝利を相続し神氏族メシヤとして、全祝福家庭が絶対信仰で真の父母様と一つになり、死生決断、実践躬行で必ず勝利して行きましょう。
目標：1家庭祝福、礼拝参加
期間：第1次 4/1～5/20 第2次 5/21～7/9 第3次 7/10～8/28
3. 1000日侍墓(シメヨ) 生活同参
期間：3月26日(木)～5月31日(日)
訓読条件：天一国經典
4. 第3地区 可知雅之巡回師特別1DAY
期日：4月20日(月)10:00～15:30 むさしのグランドホテル
5. 与那嶺先生家系図講演会
期日：4月22日(水)10:30 場所：プラザウエスト 視聴覚室
6. 健康講演会
期日：4月23日(木)10:30 浦和教会 講師：相馬章彦先生
7. 家系図セミナー
期日：4月24日(木)10:30 浦和教会
8. 第8回 天一国フェスティバル
日時：4月26日(日)13:30開演
場所：久喜市総合文化会館 大ホール
9. 東埼玉教区 つつじ祭ツアー
日時：5月9日(土)～5月11日(月) ツアー費：55,000円

天一国の歌

1. スリヨハン コッポンオリ サランエ チャンミ
ヒマン エ セソシギ マンバルハドダ
※オデヤン ユクデヂュフ チョンヂュッカヂド
オンマンセ テピョンソソデ キリ ピンネ セ
チャユ チョニルグク
2. スンゴハン ハヌルピッカル スンギョレ ベッ カブ
ソソハゴ ピンナンチョンシン イオカドダ
※(繰り返し) ピョンファ チョニル グク
3. スンヂョンエ キップ ミッタ チョンニョン ハンナレ
ヨソセンエ イサンヒャンウル ナタネドダ
※(繰り返し) トニイル チョニルグク
4. サケヂョル フィナルリヌン チョニルグク キッパル
チョンヂェイン チャンプモニム ソマンハドダ
※(繰り返し) ヘンボク チョニル グク

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう！



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

敬礼式及び記念礼拝次第



説教者：李 炯燮教区長

司会者：田川 敏

伴奏者：町田滋子

聖歌	……	天一国の歌	……	全	体
主礼入場					
聖燭点火	……			主	礼
開会宣言	……			司	会
敬拝	……			全	体
年頭標語・家庭盟誓	……			全	体
代表祈禱	……	柄本純子	婦人部長		
讃美	……	パープルクレイン			
ケーキカット					
み言訓読					
記念説教	……			主	礼
祝禱	……			主	礼
全体祈禱					
億万歳	……	石井一男			
閉会宣言	……			司	会

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ』

今週のみ言

「チャム・プ・モ」(真の父母)というその名前、三文字を思う時、真の父母により歴史が治められ、真の父母により新しい世界に移っていくことができる起源が生まれ、真の父母によりサタンを屈服させることのできる内的な因縁が決定され、真の父母により外的な世界を占領しているサタンを征服し、初めて神様を解怨成就してさしあげられる中心が決定されるのです。それゆえ、真の父母と共に生き、真の父母の命令を奉じて行動できる、この驚くべき恩賜に、皆さんがまず感謝しなければなりません。

私たちは、「父母の日」を迎える中で、喜びを感じる事ができ、喜びを感じる場で再び生まれることができる基準をもたなければなりません。また「父母の日」は、子女が生まれる日を天と地の前に公布する日でもあります。私たちは「父母の日」を立てましたが、この「父母の日」が、今日、統一教会だけの「父母の日」となってはいけません。世界万民が迎えることのできる「父母の日」にならなければなりません。この日は、統一教会の垣根の中の少数の群れだけが祝うことのできる日ではなく、万民が祝うことのできる日です。全歴史にわたって永遠にほめたたえることのできる日です。未来の万民たちがこの日を、誇りの日、喜びの日、栄光の日として、永遠に記念し、ほめたたえることのできる日です。皆さんが「父母の日」を迎えるたびに思わなければならないこととは何でしょうか。私たちが「父母の日」を迎えるのは、御父母様が訪ねていく家庭をつくるためなのです。また、「父母の日」とか、記念する日を祝うのは、その家庭の、輝ける愛と理想を高めるためだと考えなければなりません。皆さんが成婚式を挙げたなら、成婚式を挙げたその日が皆さんの氏族を中心とした「父母の日」になるのです。

統一運動

「真の父母の日」の意義

本来アダムとエバが墮落せずに個性完成して結婚し、真の父母の立場を全うしていたならば、彼らは神の有形実体対象となり、霊肉両界の主管主となるはずでした。そして、神と同じ立場に立って神の心情と完全に一つになり、宇宙の中心存在となることができ、ここに「父母の日」が決定されたはずでした。ところが、アダムとエバの墮落によってこれらの創造理想のすべてが失われたので、人類の真の父母の位置を復帰するために文先生は第二次大戦終了時より路程を出発されました。すなわち韓国においてアベル的キリスト教を代表する二人の牧師が文先生と一体化していたならば、国家的基盤の上に立って世界に向かって出発するはずでした。しかし、二人の牧師が使命を果たさなかったため、すべての歴史的、世界的基台が失われ、キリスト教もサタンに所有される立場に陥ってしまい、神のみ旨を妨害する立場に立つようになってしまいました。その蕩滅のゆえに文先生の十字架の道が出発し、北韓での興南にあった「德里特別労務者収容所」での苦役中、何度も十字架の限界を乗り越えて南に帰って来られましたが、さらに韓国においても投獄されてしまったのです。すなわち、サタンの公認を勝ち取るためには、幾多の迫害と攻撃を乗り越えなければならず、そのようにして失われた歴史を蕩滅復帰した勝利の土台の上に、1960年陰暦3月1日、青坡洞の本部教会(当時)で韓鶴子夫人と約婚式を挙行されましたが、その翌年からこの日を「父母の日」と決められたのです。すなわち、第三アダムとして来られた「真の父」が、新婦としての「真の母」を復帰して、人類の真の父母となる基準が満たされたということであり、聖書の中で「子羊の婚姻」(ヨハネ黙示録19・7)が行われると預言された内容の成就でありました。なお、1994年の「父母の日」から「真の父母の日」と改められ、「神の日」「万物の日」「子女の日」も同様に「真の」をつけることになりました。

2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開